

2025（令和7）年度市政懇談会 開催結果概要

- 日 時 令和7年7月8日（水）午後2時00分～
- 会 場 寿生活館
- 参加者 14人

〔市長より説明（別途資料参照）〕

- （1）釧路都心部まちづくり計画について
- （2）釧路市自然と太陽光発電施設の調和に関する条例の制定について
- （3）釧路市の財政状況及び事務事業の見直しについて
- （4）水道料金の改定について

●質疑応答

【参加者A】

太陽光発電施設の設置について、保護すべき動物が5種類示されましたが、植物についても同じような調査がされているのでしょうか。

【市民環境部長】

結論から言いますと、今回は植物のことは見ていません。近年、釧路湿原国立公園の南側の市街化調整区域に今太陽光パネルが増えてきています。この地域をどうにかしたいというご意見を多くいただき、そこを何とかするために、その湿原に由来する動物を守ることによって、結果的にその地区を守れるという観点に立って、根拠となる資料が揃っている5種を選定させていただきまして、しっかり守っていただくというお話をしているところです。

これをしてもらうことによって、結果的にその地区の保全につながりますので、併せてその地区に貴重な植物等があれば、それもおのずと保全をされるという考え方で取り組んでいます。

【参加者A】

とりあえずはよく目に見える動物からということですね。今後、植物の方にも対象範囲が広がっていくかどうかは、乞うご期待ということですか。分かりました。

【参加者B】

私は仕事の関係でいろいろな所に行っていますが、今回の駅高架には少し疑問を持っています。前任の蝦名市長はL字型の道路にするとういう風になるよということで進めていました。今度、鶴間市長に変わったら「真っすぐの道路になるよ」ということで、何のことだかさっぱりです。図面だけが示された話し合いばかりで本当に高架化ができるのでしょうか。我々はもう70歳80歳近くなってきましたが、やはり話し合いばかりで進んでいません。高架化して直線の道路になるとしても、早く進めてほしいです。

また、他都市の駅を見てみると、駅を真っすぐ二つに割るという駅は非常にまれです。東京の山手線とか総武線では駅を高架にして真っすぐにしていますが、普通の都市で真っすぐにするというのは疑問です。

そして、真っすぐにした場合でも、観光客が釧路駅に降り立った時に、駅前にひと休みする広場があれば「釧路は素敵なまちですね」となりますが、ただ道路だけをつなぐのではそうはなりません。これから高齢化社会が進行して、だんだんと交通が少なくなっていくと思いますが、これから釧路のまちが何で食べていくかといえば、観光です。まして釧路のまちは背中に阿寒摩周国立公園というものがありますから、お金が釧路に落ち、釧路の駅に落ち、釧路空港に落ちます。釧路のまちを見たいと思って来てくれても、ただ広場も無く道路だけつくるのでは、観光客はがっかりするんじゃないかと私は思います。

多数決を取って駅を高架にして道路をつないでも良いですけど、なるべく早くお願いします。そして、まず駅前のにぎわいづくりのためにどういうものをどの場所に持ってくるかを最初にプランを作って、それから高架化という話が始まるのではないのでしょうか。ただ高架化すると新聞報道に出ていて、例えば市民文化会館を駅前に持ってくるかという話は聞いていますが、市民文化会館をどこに持ってくるか、駅前に他にどのような施設が入ってくるか、それに対しての高架という考え方が必要じゃないかなと思います。

【都心部まちづくり担当部長】

もちろん駅前の広場を最大限大きくするという考え方ももちろんありますが、道路を直線に結んだとしても右左に一定程度の大きさの広場はできると考えています。そして、早く進めないといけないというのは当然我々も思っています。

この事業を行う上で、JR北海道や北海道庁とも協議しながら進めておりますが、JR北海道の駅舎設計も高架下道路の形がどうなるかが決まらないと先に進まないということで、待っていただいているような状況です。

【参加者B】

前の市長の案はどうなったのですか。変えるという一つの案をみんなで決め

たのに、市長が変わった途端に今度は直線に変えるということになっています。市長のまちではなくて市民のまちなのに、それでまた何年もかかってしまいます。

【都心部まちづくり担当部長】

なるべく早く進めていきたいと考えています。また、駅の周りにどのような施設を配置するのかを考えるのは非常に大事だと思っています。まず早く道路の形を決め、そして速やかにその周りにこういった施設を配置するか検討を進めていきたいと考えています。

【市長】

まずは、変わってしまってすみませんでした。私が選挙を通して訴えさせていただいた今回の直線案については、市民の皆さんからの強いお声を受けて、再度提案させていただきました。

今まで土地の調査など積み上げてきたものがいろいろありますが、それはしっかりと活用できます。最終的な計画を練り直しますので、1年程度完成時期が遅れてしまうのはありますけれども、それでも我々はその間の時期を早急に詰めていけるように努力してまいりたいと思っています。

市民の皆さんのまちですから、我々もみんなで考えていきたいという想いは一緒です。今回、3つの案を提案させていただいて、そしてご意見を集めて、9月議会にも提案させていただいて、決定します。実際には道路の線形が決まれば、その後は先ほどお話に出ていた市民文化会館や公共施設の他、こういったことができるのかを早急に詰めて進めさせていただきます。

【参加者B】

広場が大事だと思います。駅裏の広場をきれいに整備して、幣舞橋の広場もちゃんと整備されたら、印象的な釧路駅になって一番良いと思っています。

【市長】

ある程度面積的には広場にできるスペースも残ります。そして、今回考えたのは駅前だけで良いのかという話です。我々市民にとって、例えば末広も大事ですよ。全市的にアクセスが良くなるという未来も見据えて直線化を提案させていただいております。3案ありますので、ぜひご意見をいただければと思っています。

【参加者C】

私も仕事であちこちに行って、新しくなった旭川市の駅も見てきました。旭川は人口が多いので駅の利用頻度がすごいです。これからどうなるか分かりませんが、釧路も景気が悪くなる前に湿原の観光やタンチョウなど、いろいろなものを含めた中で全体を見つめていかなければ、今までどおりでは駄目だと思います。

釧路駅の駅長と話したことがあるのですが、その時に駅長は「JR北海道は全然予算が無いから、釧路駅まで予算が回らない」と言っていました。阿寒摩周国立公園を有する釧路市の入り口である釧路駅なのに、タイルが剥がれていたり、駅の地下のステーションデパートもそのままにしてあったりします。夕日だ何だと言っていますが、まずは早めに駅舎を立派に作り直していただきたいと思います。

また、太陽光発電施設については、先ほど市長がおっしゃっていたとおり、国立公園である釧路湿原に設置するものではありません。どこのまちに行っても、そのような所はありません。展望台に来た観光客はみんな釧路の夕日に感動しています。他のまちにないものを大事にしてどんどんPRしながら、早いうちに手を打つべきだと思います。

【参加者D】

3年前に34年ぶりに釧路に戻ってきました。先ほどからお話を聞いていて、率直に大変な状況だなという風に思っています。これまでの市長は10年20年先を見据えた施策を打ってこなかったと私は思っています。市民ファーストではないと思うことが今までありましたが、鶴間市長なら変わっていくと思っているので、期待しています。

また、釧路には素晴らしい国立公園があるというのに、釧路駅が古いので、なんとお金がないのかと残念に思います。お金はどこから引っ張って来れば良いのです。口先で格好の良いことばかりを言って、実行を伴わないのは本当に情けないと私は思っています。

市を何とか維持していくということは、単に私たち世代の願いではなくて、孫やひ孫の時代をどうするかという問題です。そのような意味も含めて、鶴間市長には頑張ってくださいと思っています。これからも市政に参加していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

【市長】

昔は駅にはステーションデパートがあって、北大通には丸三鶴屋もありまし

た。当時、私は釧路デパートの屋上に行って遊ぶのが楽しみでした。その頃は非常に人口も多く、北大通にはたくさんの人が歩いていたように思います。時代の変化とともに、北大通はもうまちの中心ではなくなりつつありますが、我々は北大通周辺に市役所等のまちの機能を集めてきたという経緯もありますので、私はそういうところを諦めたくないという想いがあります。近くにはまだ元気に頑張っている末広もあります。

少し時間がかかったとしても、今回の鉄道高架事業では国の補助もあります。また、道と市でお金を出して、ＪＲ北海道も一部を負担することで駅舎も新しくなります。まちの未来への起爆剤とまでなるかは分かりませんが、新しいスタートが切れるように、しっかりみんなで力を出し合っていきたいと頑張っているところですので、よろしくお願いします。

【参加者Ｅ】

自分のところの自治会についてお聞きしたいなと思ひまして、今日初めてこのようなところに来ました。現在、うちの自治会には会長がいないので、自治会を運営していくのに本当に困っています。ここにいらっしゃる皆さんは、各自治会の会長とかそういう方だと思いますので、どのようにして会長を選考しているか、ほかの方にお聞きしたいなと思って来ました。

【市民環境部長】

町内会の会員数がなかなか伸びず、役員、特に会長ですとか様々な事務の担い手がないということは本当によく聞きます。それにつきましては市役所も非常に苦慮しています。

まず何と言っても、この社会的な少子高齢化によって引き継いでいく若い世代が少なくなっていて、併せて昔と違って、お隣さん同士の付き合いが希薄になってきて、場合によっては「名前ぐらい分かれば良い」という考えの方も増えてきており、なかなか町内会に入っていただけないという状況が続いています。

我々が連合町内会の役員の方々とお話をさせていただいた中で伺ったのは、まず町内会の活動が辛くて面倒なことばかりだと思ったら誰もやってくれないという話です。「このような楽しいことがありますので、皆さんも一緒にどうですか」とお誘いをする中で、何とかして町内会活動の楽しさをアピールできないだろうかと、今、多くの方々と頑張っています。ただ、こういった取り組みはあまり即効性が無く、ＰＲがすぐに加入につながるものではありませんので、丁寧に進めていきたいと思っています。

先ほど伺ったのは現実問題として、今もう会長がいなくて、次に担ってくれる

方もおらず悩んでいるというお話でした。これにつきましては、何とか解決に向けて良い方法がないかを探っていきたいと思いますので、少々お時間をいただいて、どのような対応ができるかについて連合町内会とお話をさせていただきたいと思います。

【参加者E】

会長の席が不在になってもう3年になります。最近うちの会ではストーカーが流行っています。それで困って警察にも市役所にもお願いに行きましたが一向に埒が明かないので、今日皆さんはどう思うかをお聞きしたくて参加しました。朝の3時にピンポンが押されたり、夜中の1時半に電話がなったりしていて、ある会員はノイローゼになりかけています。私もやられていますので、現実のことです。警察に相談したら、巡回をしてくれるとのことでしたが、状況は変わりませんでした。私たちも本当に困っており、どこに相談したら良いのでしょうか。

ここにいらっしゃる皆さんは役員を選ぶときに、どのような方法で選んでいるか教えてください。うちの会は役員も会長と総務の2人しかいない状況です。

【市長】

今、オレオレ詐欺や若い子への犯罪の誘いですとか、我々が取り囲まれてる問題が複雑化して、増えてきてるように思います。そのような中で、役員の成り手が不足し、加入率も低下して人数が減ってきています。我々は町内会を非常に大切な組織だと思っておりますので、何とか来年度に向けて、実効性のある取り組みを行っていききたいと、みんなで話し合っているところです。

この場では我々も対処しづらいところがありますので、今の件は今後、担当の方でご相談を受けさせていただきます。我々が役員を指名できるわけではないので、どのように解決できるかというところは分からないのですが、防犯という観点でお手伝いできるかもしれません。全体的な対策につきましては、来年度に向けてしっかりやっていききたいと思っていますので、よろしくお願いします。

【参加者A】

先ほどとは別件です。急に始まった話ではないと思うのですが、警察署が市街の中心地から出て行ってしまうという話は私たちにとっては晴天の霹靂でした。あそこがぽっかり空き地になってしまうと、街なかのにぎわいどころの話ではなくなると思います。釧路市はどのように話を聞いて、どう対応してきたのでしょうか。

【菅野副市長】

釧路警察署が文苑の方、高速のインターチェンジの手前に移転するという話についてですね。警察から話が来たのはそれほど前もってではなく昨年ぐらいで、要因は今の建物が相当老朽化してきているというお話でした。北海道も今いろいろな所で、北海道警察の建物の更新を考えたときに、現在の場所で建て替えるとなると土地も狭く難しいとのこと。また、釧路署は管轄するエリアが広いので、管内の警備のためにも開通した高速道路の近くに署がある方が良いとのことでした。

そういった経緯で、やや1年もかからないうちに、北海道警察ではもっと早くから多分いろいろなことを検討されたと思いますけど、建物は釧路市役所と同じく昭和40年代もしくは30年代の建物で相当古くてそろそろ駄目だということで、移転をするというお話がありましたので、市有地を提供するというところで今調整をしているところです。

これまで、相当数の警察署員が通勤で街なかに来ていましたので、移転によって街なかの人が少なくなるというのは確かにありますが、やはり警察の広域的な管轄ということも考えると、市としてはやむを得ないという風に思っています。

そのあとの今の警察署の建物をどうするかというのは北海道の考えですが、市としてはあそこが更地になれば、逆にいろいろな機能を街なかにとってこれるのではないかなとは考えています。北海道から市にオーダーがあったのは、「どこかに広い市有地はありませんか」ということでしたので、これまで検討してきており、北海道の予算も通りましたので、来年度からは建設に向けて進んでいくという風に聞いています。

【参加者A】

私は車の事故を無くしたいと思っているので、毎朝7時35分から8時の間、10分間くらい中央小学校通学路の国道で立って子どもたちを見送っています。西港が近いので飼料等を積載したトレーラーが多く駅前に抜けて行って、コンビニがあるのであっちこっちから車が入ってきます。

今まではパトカーが出光に燃料を入れに行くなどの用事で走っていましたが、私はわぁ良いなとパトカーを見るだけで安心していました。子どもたちを撫でるような不審者がいるという話もあるので、そのような人がいなくなれば良いなと思ってうろうろしながらやっています。遠くなるとそのような問題が出てこないかと心配しています。

【菅野副市長】

そこは私たちも気にしていて、警察署なのですべてがこの辺を警らしているわけではないですけど、そういった交番機能はきっちり維持してくださいという要請はしています。やはり、パトカーが通るだけでも安心というのはよく分かりますので、しっかりと要請していきます。